

# メンテナンス革命!



## 仕様

製品名	自己融着性防食クリアテープ サビ御用
品番	2m SLB-SG 25W-2M 5m SLB-SG 25W-5M
材質	シリコンゴム
色	半透明
形状	山型
幅	25mm
中央部厚み	1.0mm
剥離フィルム色	ピンク

## 性能

製品名	自己融着性防食クリアテープ サビ御用
試験	測定値
比重	1.2g/cm <sup>3</sup>
引張強さ	50N/10mm
伸び率	600%
硬度	40IRHD
耐候性	外観変化なし
耐熱性	-50~200℃
耐薬品性	弱酸、弱アルカリ
絶縁破壊強さ	25kV/mm
防食性	外観変化なし
難燃性	難燃性あり
食品衛生法	厚生省告示第370号適合
水道用資機材	溶出性能基準適合

\*数値及び測定値は、規格値ではありません

ShinEtsu

信越ポリマー株式会社

## 営業第四部 第四グループ

〒330-0811 埼玉県さいたま市吉野町1-406-1 ☎048-652-6287

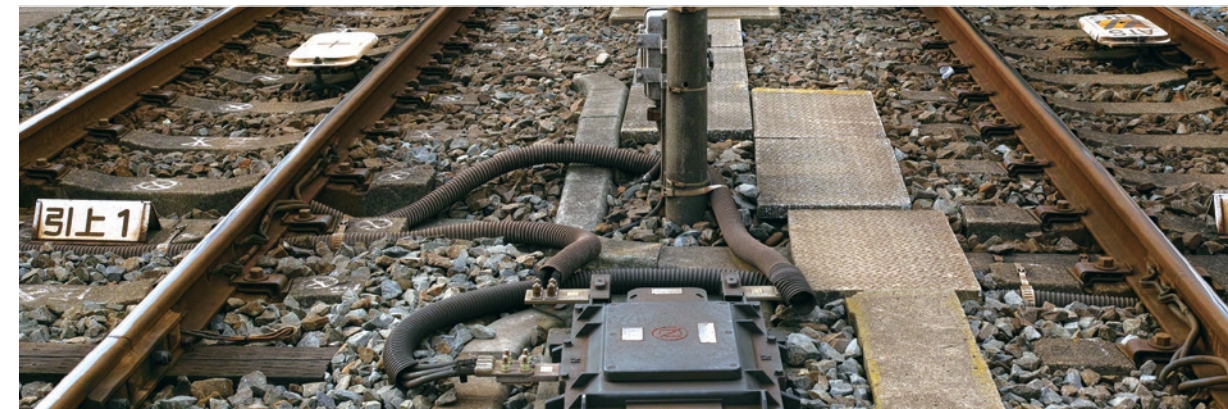
本社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-9 ☎03-5289-3712  
大阪支店 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-8-29 テラサキ第2ビル ☎06-6350-1121  
名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-16-22 ☎052-581-4231  
福岡支店 〒812-0024 福岡市博多区網場町2-2 福岡第一ビル ☎092-281-4666  
仙台営業所 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-10-12 仙台マルセンビル ☎022-264-1366  
広島営業所 〒730-0051 広島市中区大手町2-8-5 合人社広島大手町ビル ☎082-249-1370  
札幌営業所 〒060-0004 札幌市中央区北四条西12-1-28 北4条ビル ☎011-210-8250

ご用命は

ShinEtsu

シンエツシリコンゴム製品

## 自己融着性防食クリアテープ サビ御用



## 自己融着性防食クリアテープ サビ御用

### ■施工前の準備と注意点

#### ○サビ御用の取り扱い

手やサビ御用貼り付け面にゴミやほこり、油分などの汚れが付いていると、融着や接着性が妨げられ十分な効果が得られません。薄いゴム手袋の着用を推奨します。

#### ○施工箇所の確認と汚れの除去

施工箇所に、バリ等のエッジ部があると、サビ御用が割れてしまう恐れがあります。事前にバリや錆、汚れ等を取り除いておく必要があります。また、貼り付け面に水が付着している状態は避け、表面の乾燥を確認した上で施工してください。

#### ○適切な長さに切って使用する

サビ御用はロールのまま使用せず、適した長さに切ってご使用ください。また、両端は斜めにカットし、剥離フィルムを剥がしてからご使用ください。ポリマエースは被着面に適した形状にカットしてからご使用ください。

### ■取り扱い方法

#### ○サビ御用の持ち方

サビ御用を親指と人差し指でしっかりと挟み、手のひらで握らないでください。サビ御用を強く引っ張り確実に融着させるため短めに持って巻き付けてください。

#### ○引っ張り方

防食処理では、サビ御用の引っ張り幅を2/3(約17mm)としてください。

#### ○サビ御用の巻足し方

サビ御用を途中から巻足す場合は、必ずテープ幅すべてが巻き終えたサビ御用に重なるようにして巻いてください。

#### ○サビ御用の巻広げ方

サビ御用を左右に巻広げる場合、サビ御用の半分が重なる様に巻広げてください。

### ■取扱い上の注意

#### ○安全性の確保

サビ御用の施工や取り外しは、必ず保護メガネやゴム手袋などの適切な保護具を着用し、人体の安全性を十分に確保してから行ってください。

### ■使用上の注意

○メンテナンス用途以外には使用しないでください。

○使用に際して、お客様にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうか確認してください。

○製品はお子様の手の届かない場所で、直射日光を避け常温で保管してください。

○サビ御用表面にはほこりや汚れが付かないようにご使用、保管してください。

○サビ御用は、刃物等の鋭利なもので簡単に切れしますので、注意してください。

○製品を取り扱った後は、手を洗ってください。

○ガソリン、灯油、シンナー、トルエン等の油性液体や有機溶剤は使用しないでください。

○廃棄の際は、各自自治体の指導に従ってください。

○水中でのご使用は避けてください。巻き付け部から、剥がれる恐れがあります。

○ご使用前には、安全データシート(SDS)をお読みください。SDSは担当営業部署までご依頼ください。

●このカタログに記載されているデータは、規格値ではありません。

●ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかご確認ください。  
なお、ここで紹介する用途や使用方法などは、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。

●当社のシリコン製品は、一般工業用途向けに開発されたものです。医療用その他特殊な用途には絶対に使用しないでください。

●本カタログに記載されている信越ポリマー及び信越ポリマー製品の名称は、当社又は当社の子会社・関連会社の有する登録商標、もしくは商標です。

●その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

●本製品の記載内容は、予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<https://www.shinpoly.co.jp>

# 配管に巻き付けるだけの簡単な作業で金属腐食を長期間ストップ。

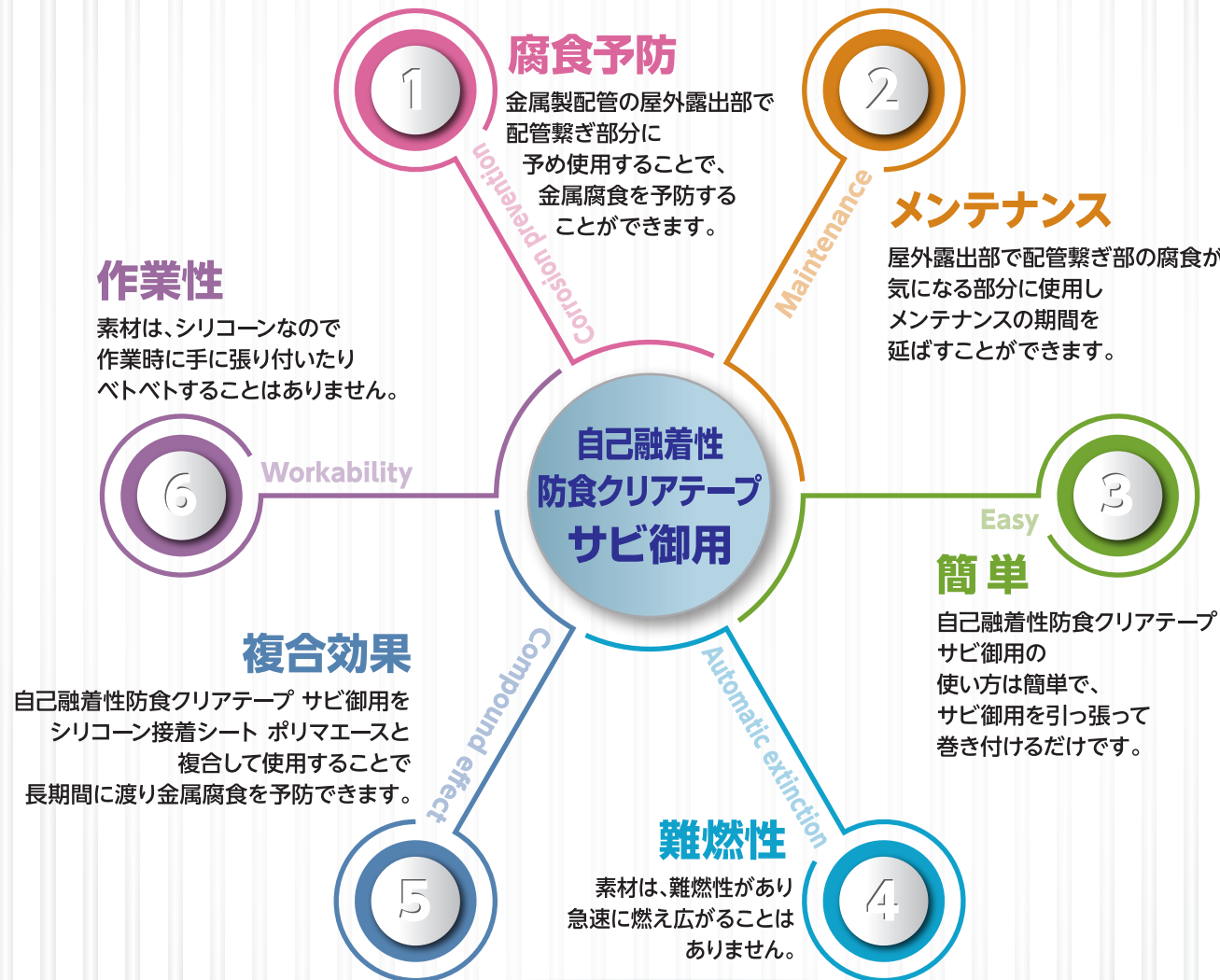
## 配管の腐食予防メンテナンスの新たなスタンダード。

自己融着性防食クリアテープ サビ御用は、配管接続部の腐食防止用に開発したシリコーンテープです。(東日本旅客鉄道株式会社様と特許共同出願中) 金属配管の屋外露出部や、配管繋ぎ部分に使用する事で、長期間にわたり金属腐食を予防できます。

自己融着性防食クリアテープ サビ御用は、引っ張って巻付けることでシリコーン素材同士が融着し一体化するテープです。粘着剤、可塑剤は使用していないので、剥がしてもベタベタせず跡残りもありません。耐候性に優れたシリコーン素材のため持続して性能を発揮することができます。



■あらゆる設備にある金属配管等のねじ切り部、溶接部のメンテナンス防食に使用できます。■



### 防食性 (塩水噴霧複合サイクル試験)

■試験条件  
[テストピース] 自己融着性防食クリアテープ サビ御用 30cm  
[被着体] PLS15A (ポリエチレン被覆鋼管) の①ねじ切り部にテストピースで被覆、②被覆なし  
[試験方法] JASO M 609に準拠し、塩水噴霧2時間、乾燥4時間、湿潤2時間の8時間を1サイクルとし、270サイクルまで試験を実施した。

■試験結果 (270サイクルは、実暴露20年相当)  
●被覆なしは、錆の発生がある。  
●テストピースで被覆すると錆の発生がなく優れた防食性が見られる。



### 難燃性

■試験条件  
[テストピース] 自己融着性防食クリアテープ サビ御用 1mm厚×125mm×13mm  
[試験方法] UL-94HBに準拠した水平燃焼性試験装置にテストピースをセットし燃焼試験を実施した。

■試験結果  
●燃焼速度が、判定基準75mm/分以下でした。

### 耐候性 (超促進耐候性試験)

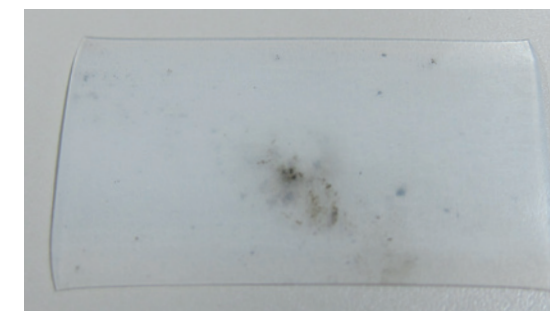
■試験条件  
[テストピース] 自己融着性防食クリアテープ サビ御用 5cm  
[試験方法] 超促進耐候性試験機 (メタルウェザー) にテストピースをセットし、40℃、600時間照射した。テストピースの外観変化について確認を行った。

■試験結果  
●600時間 (実暴露20年相当) 後の外観変化はなかった。

### 絶縁性

■試験条件  
[テストピース] 自己融着性防食クリアテープ サビ御用 5cm  
[試験方法] JIS C2110-1に準拠した、絶縁耐力試験を実施した。

■試験結果  
●絶縁破壊強さは、25kV/mmとなった。



### 機械的強度

■試験条件  
[テストピース] 自己融着性防食クリアテープ サビ御用 15cm  
[試験方法] 引張試験機にテストピースをセットし、試験速度 500mm/minで引張、強度及び伸び率を測定した。

■試験結果  
●10mm幅での引張強度は、50Nであった。  
●伸び率は、600%であった。

### 耐薬品性

■試験条件  
[テストピース] 自己融着性防食クリアテープ サビ御用 5cm  
[試験方法] JIS K7114に準拠し各種薬品の所定の温度条件で24時間浸漬した。

■試験結果  
●弱酸性や弱アルカリ性では、外観の変化がなかった。  
●強酸性や強アルカリ性には、侵された。

薬品	濃度	温度	外観変化
塩酸	(10%)	40℃	○
	(36%)		×
硫酸	(10%)		○
	(75%)		×
硝酸	(10%)		○
	(75%)		×
酢酸	(5%)		○
次亜塩素酸ナトリウム			○
水酸化ナトリウム			×
水酸化アンモニウム			×
過酸化水素水			○
エチルアルコール			○
メチルアルコール		○	
トルエン		×	
アセトン		○	
エチレングリコール		○	
食塩水	(10%)	40℃	○

\*上記データは、大まかな耐薬品性挙動を示したもので、耐薬品性を保証するものではありません。使用に当たっては、使用条件を考慮した試験等を行い、確認の上ご使用ください。

### 自己融着性防食クリアテープ サビ御用 施工手順



**施工箇所の確認**  
施工部位の大きさと配線・配管の径を確認し、施工前にはゴミ、ほこり、泥や汚れはあらかじめ除去してください。

**サビ御用 準備**  
サビ御用を被覆させる配管等の径により適切な長さで両端を45度の斜めにカットし、剥離フィルムを剥がします。

**サビ御用 巻き付け**  
防食配管等の中央部にサビ御用を押し当て引っ張りながら巻き付けます。引っ張り幅は、2/3 (約17mm) となるように巻き付けます。サビ御用の半分以上が重なる様に渦巻状に巻き広げます。防食性を上げるために、被覆する部位の両端部を30mm程度広げて巻き付けます。巻終わりができるだけ中央部になるように巻広げてください。サビ御用を2から3層被覆部を設けることで性能が向上します。

サビ御用の端部をポリマエースで固定することでより確実に使用いただけます。

### シリコーン接着シート ポリマエース



■仕様 t2mm×25mm×75mm  
**施工手順**  
1. ポリマエースは両面の剥離フィルムをつけたままハサミ等で適当な大きさに切って使用してください。

2. ポリマエースは表面に土、埃等が付着しないよう施工直前まで剥離フィルムを剥がさないでください。  
3. ポリマエースの片面フィルムを剥がし、サビ御用の端部に圧着します。  
4. 圧着確認後、もう片面の剥離フィルムを剥がし密着していることを確認してください。  
※詳細は弊社までお問い合わせください。